

新規指定の重要文化財

名 称	きゅうしもむら け じゅうたくようかん 旧 下村家住 宅 洋館	棟 数	1 棟
所 在 地	きょうとふきょうとしかみぎょう く からすまどおり まる たまちあが かすがちょう 京都府京都市上 京 区烏丸 通 丸太町上る春日町		
所 有 者	だいまるまつぎかやひゃつかてん 株式会社大丸松坂屋百貨店		
指定基準	(一) 意匠的に優秀なもの		
建 物 名	構 造 形 式		建 築 年 代
旧下村家住宅 洋館	鉄筋コンクリート造、建築面積 511.54 m ² 、3 階建、 地下 1 階、スレート葺		昭和 7 年(1932)
[解説] ーハーフティンバーの外観が美しいチューダー様式の重厚な洋館ー 京都御所の西側に位置する、大丸創業家第 11 代当主下村正太郎 しもむらしょうたろう の邸宅。現在は大丸ヴィラとして知られる。鉄筋コンクリート造、3 階建、地下 1 階の洋館で、アメリカ人建築家、W. M. ヴォーリズの設計、清水組の施工により、昭和 7 年に竣工。内外とも下村正太郎が好んだイギリスの建築様式チューダー様式を基調とする。外観は木造の柱や梁を見せる美しいハーフティンバーで、煙突が林立する急勾配の屋根をスレートで葺く。内部は 1 階の広間や居間、食堂、二階の階段室や会議室などに格調高く重厚な装飾を施す。 数多いヴォーリズの住宅作品の中でも優れた意匠を誇る住宅であり、我が国屈指のチューダー様式の邸宅である。家具に加え、塀や門、庭園の構成要素など屋敷構えとともに保存を図る。			



旧下村家住宅洋館 外観 西面（京都市提供）



旧下村家住宅洋館 内観 1階居間（京都市提供）